



大切な命のために、交通ルールはしっかり守ろうね！
安全な自転車運転・歩行の指導や模擬事故実験を実施しました！
～交通安全青空教室（駕小・本小・利小）より～

平成22年 5月号

広報 

いしし富士

No.219

平成22年度

町政執行方針

「未来に繋がる
希望の持てるまちづくり」
を目指して



平成二十二年第一回利尻富士町議会定例会にあたり、町政執行について私の所信と基本的な姿勢を申し上げ、町議会の皆様を始め町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国内では、昨年八月に政権交代があり政治や行政のあり方に大きな変化が生じつつあります。今後は政治主導の政策の推進或いは地域主権型社会の構築に向けた動きが加速されるものと思慮しており、さらには保健・医療・福祉・教育・年金・環境・地方税などの国の制度システムの改革が見込まれ、国や地方を取り巻く環境が刻々と変化し様々な転換期に直面すると思われま

すので、時代の変化に対応できるように

組織体制の確立と事務事業に対する発想転換を図り、国の施策の内容を直視しながら行政を運営しなければならぬと考えています。

こうした中、昨年十一月の町長選挙においては町民の皆様の温かいご支持のもと、無競争での当選という栄を授けて三期目の重責を与えられましたことに對しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

この責任の重大さを肝に銘じ皆様の期待に沿うことができるよう利尻富士町が「未来に繋がる希望の持てるまちづくり」のために確かな舵取りをしてまいり所存でありますので、これまでと変わらぬご指導を頂きますようお願い申し上げます。

今年、明治十三年に利尻郡各村戸長役場が鴛泊村に設置されて以来、開町百三十年、そして、町名を「東利尻町」から「利尻富士町」に変更してから二十周年となる記念すべき年となりました。

この節目の年に町政を担う者として、今日に至るまで幾多の苦難や困難を克服して当町の発展にご尽力頂きました先人のご努力とご苦労に対し、深甚な

る敬意を表し感謝申し上げますとともに、先達が歩んでこられました歴史と気概に思いを馳せつつ、今後も、「ふるさと利尻富士町」が魅力と活力にあふれる共同体として輝き、そして躍進して行く契機となるよう全力を尽くして参ります。

行財政改革

本町の財政は、地域の皆様の温かいご理解とご協力のもと行財政改革が軌道に乗りつつあり、ようやく収支均衡の取れた財政構造の形が見え始めてきたところであり、「利尻富士町行財政集中改革プラン」も二十一年度をもって五ケ年、一応の目途が経って計画が終了しますが、今後も厳しい財政状況が続くことが予測されることから、継続して安定した行政サービスを提供するため「新行財政改革プラン」を策定しながら継続して行財政改革を実施しますのでご理解願います。

本町は平成二十一年度の国の経済対策を活用して第一次補正予算の「地域活性化・経済対策臨時交付金」では一億六千二百三十二万二千元、「地域活性化・公共投資臨時交付金」では八億六千四百六十八万三千元、第二次補正予算の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」では七千三百二十三万四千元、総額十一億二千九百九十九万九千円を確保することができました。このため景気浮揚対策や雇用対策のために公共

事業の前倒しなどの事業を実施して、すでに執行している事業のほか、今定例会で審議頂く二十一年度補正予算、二十二年年度予算にもそれぞれ交付金を活用しながら事業費を計上して町内経済の活性化、雇用対策を図ることにして参ります。

平成二十二年年度の町政の執行については、新まちづくり計画の将来像である、「ふるさとの元氣と輝きをもとめて」を実現するため、次の五つの目標に向かって、地域の皆様からのご支援、ご協力を頂きながら諸施策を実施して参ります。

以下、具体的な施策については項目ごとに申し上げます。

一、活力に満ちた元氣のある産業のまちづくり

水産業について

●合併二年目となった「利尻漁業協同組合」の漁業生産額は、鴛泊・鬼脇の両地区、利尻富士町分では前年比九一%の十六億四千二百万円で一億五千万円の減額となりました。この減産は「ホッケ・カレイ・いかなご・蛸」などが六〇〜八〇%のほか、これまで順調な水揚げが続いていたナマコが二〇t減の七〇t、金額で六千二百万円円減となっており、今後の漁模様に不安を抱かざるを得ません。



水揚げされたサケ

●本町の漁業形態は皆様もご承知のとおり、根付、沿岸漁業が主体であり、水揚げ量などは自然環境に影響が受けやすいとはいえず、海水温や気象等も含めて私共の力が及ばないことにジレンマを感じながら、昨年利尻島沿岸で発生した「濁り水」についてはウニ漁の最盛期でもあったこと

また「天然昆布」も価格安というところもあって一億二千三百六十万円で四千七百万円の減産になっています。「養殖昆布」は、前年比で九割増の一五一tが生産されましたが金額で三千八百万円の減となりました。これは価格安と併せて「ヒドロゾア」が例年より早く発生したことや採取時期が天候不順で遅れたことに起因するものでないかと思っています。こうした中、昨年は新たに二経営体が新規に着業しており、今年の水揚げには期待できるのではないかと思っています。

一方、増産となったのは「ウニ、ノナ」のほか「サケ・ヒラメ・メバル」が水揚げを延ばし、特に「サケ」については漁期前の予想を覆して前年比三四四%の水揚げがあつて安堵しているところでもあります。

から心配されましたが、原因は専門機関の分析では植物プランクトンと判断しており、この現象は冬期間に深層から上層に栄養豊富な海水が補給され、これに気象条件などが加わって起こると言われており、あの時期に大規模に発生したことはウニ漁にも多大の影響があつたものと承知しております。

●今年度の漁業生産基盤の整備では、北海道が鬼脇沖に継続整備をしている魚礁設置事業でFP魚礁の設置が計画されているほか、漁協から要望があつた場合には臨機応変に対応したいと思つております。

●港湾、漁港の整備では、鶴泊港の中央物揚場（一五・〇m：旧フェリー埠頭）、港湾施設用地・道路等が継続整備され完成となる予定であります。また、老朽化により利用制限していた漁船上架施設、船揚場、東防波護岸（灯台山付け根からの防波堤）についても今年度末には国の直轄で整備される予定であり、漁業者にはご不便をお掛けしていることを承知しながら今暫くお待ち願いたいと思ひます。

鬼脇港区についても船揚場改良と並行して漁船上架施設が整備されるほか、町としても直轄での整備の状況に合わせ背後の町道改修など周辺環境に配慮しながら整備を検討します。また、隣船漁業者の皆様には船体整備等で近上架施設は今年度中に完成する運びと

なつており、漁船漁業者の利便性が向上するとともに漁業者から要望のあつた非常時のクレーン用ベルトの購入も予算計上しています。

●これまでの港湾整備計画については、平成十四年に策定された「鶴泊港湾長期構想」をベースに開発建設部との協議等を行い、港湾・漁港審議会に諮つて整備要望をしておりますが、この長期構想も策定後、鶴泊市街地道路拡幅事業、鶴泊港と鬼脇港の港湾統合など実情が大きく変わってきていることを踏まえ、新年度でこの構想を見直すための構想策定経費を予算計上しています。

●漁港については、雄志志内漁港の波消ブロックの製作を計画しているほか、本泊漁港では東防波堤改良として防風柵が継続整備され完成し、大磯分港は船揚場、道路、用地改良を実施して完成を目指しております。また、各漁港の補修等については、港湾・漁港審議会や地元利用者の意見を尊重しながら積極的に対処します。

●「つくり育てる漁業」では、宗谷管内さけ・ます増殖事業協会が町内（旭浜地区）に「新ふ化場」の建設を計画しており、二十三年度着工・完成を目指しており、このため現在は北海道からの用地買収計画を交渉している段階で諸問題はクリアされる見通しになっています。施設規模は四百万尾の稚魚生産規模から日本海対策のため考慮

して六百万尾に変更し、これが整備されれば利礼地区の特採ノルマの拡大と沿岸資源の増大にも貢献できるものと確信しています。

●資源増殖など離島漁業再生支援交付金は、二十一年度末を持つて終了となりますが、年末に行われた政府の事業仕分けで今後も必要な事業であるとの判断がなされ、これまでと同様の事業を実施することが可能であると思つております。

●漁業後継者は昨年、鬼脇地区で二名の漁業者が誕生しました。本年度も現時点であります二名の後継者について連絡が入つており制度に則つて支援をして参ります。また、平成二十年から実施している宗谷支庁、利尻島両町、漁協など関係機関と協議会を設立し、都会で漁業に興味・関心のある意欲的な若者を対象にした漁業体験学習「漁師道」や「漁業就業支援フェア」を今年も実施します。

観光について

●昨年の観光入り込み客数は、上期で十五万六千人の前年比九一・五%、下期の見込みを含めても前年の十八万九千人をさらに割り込むのではないかと予測しています。

この要因は、長引く景気の低迷による旅行の手控えと新型インフルエンザの流行、高速道路の無料化なども一因と思つており、観光産業を取り巻く情

勢は非常に厳しいものがありますが、団体ツアーの集客ばかりでなく、利尻島観光の原点である個人、家族旅行での観光客にも目を向け、地域の方々から一声を掛けて頂くなど、協力して頂ければ、島民の観光客に対する想いが伝わって「心の観光」にも繋がるものと思っておりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

● 荒廃が進んでいる利尻山登山道は、環境省が主体となつて関係機関と合同で工法等を検討し、二十一年度から環境省直轄で着工され、今年度も引き続きコース上部の整備が予定されているほか、環境省関係事業では、園地整備で姫沼公衆トイレの新設工事が六月完成を目指して進めることになっております。

● 町の事業としては、姫沼展望台の防護柵や園地看板の改修、富士野園地の展望台、防護柵の改修を実施するほか、北麓野営場は施設の全体を見直しながら、自然環境・景観にも配慮した施設改修を実施する計画を樹てるべく各関係機関と調整を図ります。

● アメニティパーク整備事業も全体計画が完了し、「健康と癒し」の環境が整いましたので、今後は施設全体の維持管理に万全を期し、有効かつ積極的に利用して頂くよう企画PR等に取り組んで参ります。

● 何といつても減少が続く観光対策は、利尻富士町一町のみで集客できるもの



姫沼展望台

でなく、道北、宗谷管内市町村や各関係機関と連携を図りながら観光客誘致に努力しなければならず、今後とも各種イベントなどを積極的に活用してPR活動、マスコミ各社や旅行関係業者への観光情報を発信しながら共同で取り組んで参ります。

二、健やかで元気に暮らせるまちづくり

町民の皆様が、健康で明るく元気に、そして安心して生活を営むためには健康の維持増進と町民自らの健康に対する意識向上が不可欠であり保健・福祉・医療の三者が一体となった充実したまちづくりが求められています。

福祉施策の根幹である社会弱者の支援と健康を保持するため、社会福祉団体や住民、自治会等が一体となつて「絆」を深めながら、住民の目線に立つて対話を重視し、「健やかで元気に暮らせるまちづくり」を積極的に推進して参りますので、これまで以上のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以下、主な執行施策を申し上げます。

保健・医療関係について

● 健康は充実した人生を送るための基礎的な条件となるものでありますが、近年は糖尿病を始めとする生活習慣病予防の必要性が益々重要視され、健康への関心が高まってきております。

今年度においては、疾病予防や健康の保持増進を図りながら健康教育、健康相談、訪問事業の強化、健康への意識啓発など、きめ細かな対応をもつて町民一人ひとりが健康を実感できる体制の充実を図ります。

● 保健事業では、近年の社会環境や生活習慣の変化、また、個々の価値観や住民ニーズに対応するため、二十年度から実施が義務化された「特定健診・特定保健指導」を徹底し、春・秋二回



糖尿病講演会の様子

の集団検診を実施するほか、各種がん検診や予防接種、乳幼児健診と併せて、乳幼児医療の助成、育児支援や妊婦検診の宿泊、交通費の費用負担助成を行います。

● 医療体制については、鴛泊診療所、鬼脇診療所の両所長が「町民のかかりつけ医」として、患者の目線で親切丁寧に対応して頂いているほか、希望者には訪問診療を実施して頂いているなど、町民に安心した医療を提供して頂いていることに対して、高島先生、近藤先生両所長に感謝しているところであります。これからも診療体制に協力願いながら、疾病の予防、早期発見に対応できるよう保健福祉センターと連携を深めながら、医療体制の充実強化を図ります。

● 老朽化していた歯科診療所は、昨年防災拠点施設として整備した鬼脇支所と併設して医師住宅も一体となつて新築完成しましたが、診療ユニットやレントゲン装置なども最新の機器を整備した診療体制が図られますので、地域住民の利便性と安心の確保及びサービス向上に寄与できると考えられています。



新設された鬼脇支所・歯科診療所(防災拠点施設)

地域福祉関係について

● 町民が安心して生活ができるように関係機関と連携を強化し、適切な支援を行いながら充実を図ります。このため、ひとり親家庭医療給付事業を継続するとともに、高齢者には必要な見守りや交流などが深まるよう生活支援体制を充実させるほか、低所得者層を対象に燃料購入扶助事業も前年の実績をもとに予算計上を行っています。

高齢者福祉関係について

● 保健師を中心に支援が必要な高齢者やその家族に対して介護予防や給付事業、訪問相談など日常生活の支援を実施しながら、生きがいづくりや世代間交流などの介護予防教室、運動教室を紹介して、介護予防の促進を図るための支援を継続して実施します。

● 介護サービス施設「特別養護老人ホーム・デイサービス・老人保健施設」では、最近は入所待機者の長期化が緩和されつつあり、居宅サービスの要支援、要介護ともに利用は横ばいで推移している状況にあります。これは住民の方々の「自らの健康は自らが守る」という自意識の向上と、温泉プールをはじめ健康回復施設の設置やこれまでの保健活動が実を結んでいるものと思っております。

このような状況の中で施設介護の運営にあたっては、入居者、通所者が安

心して利用できるような適切なケアプランのもと、介護サービスの提供ができるよう指導を徹底して参ります。

障がい者福祉対策について

● 障がいのある方が当たり前に地域に暮らし、地域の一員として共に生活できる社会を構築するため「障がい者自立支援法」に変わる、新たな総合的な福祉法制を実施することが新政権で明示されました。この制度が施行されるまでの間、低所得の障がい者の方には、福祉サービスや補装具にかかる利用者負担を無料にするために新たな国の負担軽減策も講じられ、また、島外施設入所者の生活や自立のための就業支援は今後も確保されておりますが、新制度の内容を見極めながら対応いたします。

児童福祉・少子化対策について

● 保育ニーズの多様化に対応するために臨時保育士を確保しながら保育体制の充実と保育環境の整備に万全を期してまいります。また、鬼脇保育所では遊戯室の床の整備、駕泊保育所では施設の防寒対策として旧幼稚園の一部改修を実施するとともに、保育料については、これまでの方針に基づいて改正を実施しますのでご理解願います。

● 「こども手当」については、国の施策として今年度から実施しますが、昨年までの児童手当と併用して実施する

との方針で、中学生までの児童に一人月額一万三千円を支給することになっております。

支給に対する事務の取扱いや申請の方法などは、これからの通知・通達に基づいて住民への周知を図って参ります。

各保険制度について

● 国民健康保険事業については、国の税制改正により限度額の引き上げが予定されておりますが、国保税は現在各地域を廻って所得の把握をしている段階であり、第二回定例町議会で審議頂くことになると思っております。

● 出産一時金は、昨年十月から四万円引き上げられて四十二万円の支給となつて継続実施となり、七十歳から七十四歳までの高齢者医療は、今年度も一割負担のまま継続することになっております。

● 後期高齢者医療制度は、現行制度を廃止して新制度に移行することはすでに周知されておりますが、新制度への移行までの間は保険料の負担軽減や国の助成制度は現行のまま継続されることとは決定されているものの、本年度の個人の保険料率の改正は行われることになっております。この保険料は皆様もご承知のように基本的には全道均一の保険料となっておりますが、本町の場合には一人当たりの医療費が全道でも三番目に低いことから前年度と同様に軽減

される予定です。

三、自然と共生する安全で快適な環境のまちづくり

道路・市街地整備関係について

● 町が実施する事業としては、道路関係では老朽化が著しい港町「ペシ岬登り口」の人道橋（サンセットドリーム前）について遊歩道も含めて実施するほか、駕泊市街一〇号線改良、鬼脇地区では恵比寿橋（歯科診療所横）の調査設計を委託して二十三年度の本工事の実施に備えます。また、土木現業所で進められている駕泊市街地道々拡幅事業では、今年度は漁業協同組合の冷凍工場等関係施設の補償を主として実施されます。

下水道関係について

● 鬼脇地区が供用開始されてから三年が経過することから鬼脇処理区への接続が法に基づく最終年となるため、公共施設の下水道接続に対する関係経費も予算計上しておりますが、住民の方々にも周知徹底を図りながら水洗化率の向上に努めます。

● これら下水道の普及が図られたことから、現在、清掃施設組合で行っている尿処理場が生し尿の不足によって稼働できなくなることから、生し尿を下水道に投入する施設整備が必要であ

り、二十一年度は利尻富士町が事業主体となつて「ミックス事業」の基本設計を行いました。これからは利尻町の下水道処理施設を活用するため、二十二年からは利尻町が事業主体となつて「前処理施設」を整備することになっており、完成予定は二十三年度まで、完成した暁には二つ石にある清掃施設組合の衛生センターは休止することになります。

治山・治水・砂防関係について

●二十年度でアフトロマナイ川、ヤマナイ沢川に大規模な工事を実施したことにより、昨年の集中豪雨でも濁り水は出たものの土砂・土石の流出は見られず、その事業の効果を実感しているところでもあります。

●本年度は、土木現業所の事業としてアフトロマナイ川・雄志内川の床固工が予定されているほか、沼の沢川の砂防事業として遊砂地工が計画されています。

●森林管理署関係では、ヤマナイ沢川に床固工、湾内地区に雪崩防止柵の設置が予定されていますので、漁業被害の防止に貢献できるのではないかと考えています。

●町の事業では、昨年八月の豪雨で雄志内サケ・マスふ化場の裏山から出水があり、放置して置くと危険と判断し、小規模治山工事を実施します。

防災・交通安全対策について

●いつ起こるか分からない災害や火災から町民の生命と財産を守り、災害被害の軽減と安全なまちづくりを進めるためには、災害に対する意識の向上と災害の未然防止、災害発生時の初期期における確な対応が必要であります。昨年からは利尻三町が連携して取り組んでいる地域情報通信基盤整備事業が今年度完成される予定であり、町民の皆様へ超高速ブロードバンドサービスの提供が可能となつて、地域間の情報格差の是正と老朽化している防災行政無線の更新を図ることができまので、迅速な災害情報や行政情報の提供による安全・安心なまちづくりに寄与できるものと思つています。また、複雑多様化する火災や救急救命救助活動に万全を期すため、国庫補助採択の決定を見なければなりません。が、篤泊消防支署



現在使用の防災行政無線（戸別受信機）

に大型消防タンク車一台を更新します。

●交通事故のない住みやすい町にするためには、運転者と歩行者が互いに交差ルールを守ることが大切なことあります。特に本町は交通事故死ゼロの記録が二月末で一、六六三日になりましたが、悲惨な交通事故を防ぐためにも二、〇〇〇日を目標に掲げて「飲酒運転の根絶」を重点項目としながら交通安全運動を展開します。

四・豊かな心を育む

学びのまちづくり

※教育行政施設方針参照

五・協働と創意で歩む

行政のまちづくり

町民との協働関係について

●昨今のような社会変化の激しい潮流の中でのまちづくりは、行政主導から住民参加・参画を重視しながら、住民と行政がそれぞれの役割や特性に応じて協働する地方分権にふさわしい住民主体の「魅力あるまちづくり」を進めることが肝要であると思つています。これが実現のためには、各自自治会、各種団体、住民の方々の自立した活発な活動が展開できる「協働のまちづくり」を推進しなければならず、今年度の目標として

- ①町民が同じ目的を持って一つになること。
- ②町内の二十一ある自治会が「それぞれの地域」を一つに纏めて頂くこと。
- ③町民全員が行政に関心を持って頂いて心を一つにすること。

この三つのコミニティーを束ねて三本の矢として「強固な繋がり」により「絆」を強くしながら、地域社会を形成する覚悟を持って、将来をも見据えた「ふるさと利尻富士町」を築き上げたいとの願いから新春座談会で地域の方々に協力して頂くよう申し上げましたところであり、特に、今年度は開町百三十年という記念すべき年にあたり、この目標を達成するための初年度として、町民との融和、信頼を築きながら行政の情報公開を積極的に進め、各種会合や地域懇談会等で周知を図りながら地域の皆様にもご協力願いたいと考えております。

平成二十二年財政運営について

●本町の財政状況については、自主財源である住民税は、漁業生産額の減少と景気低迷によって前年度比で一千五百七十九千円の減、町税全体では前年比五・七%減の二億六千六百七十一万八千円となり、歳入不足は依然として厳しい状況下にあります。このため、使用料、手数料などの受益者負担は堅実に確保しながら年度内の完納に全力

● 一般会計の建設事業費は、道々拡幅事業移転補償費も含めて十一億二千九百二十八万四千円を確保しているほか、二十一年度補正予算の繰越明許費で実施する「公共投資臨時交付金」では情報通信基盤整備事業、港湾施設整備事業で六億八千六百万円、「経済危機対策臨時交付金」では鬼脇支所の解体など五千五百万円、「きめ細かな臨時交付金」ではペシ岬線人道橋改築工事など七千万円、利尻富士利尻線(雪)工事用地取得事業で八千九百万円、Jアラート整備事業で五百四百万円、総合

● 二十二年年度予算では、子育て支援や高齢化社会に対応した施策の継続のほか、安全・安心や地域の元気回復などの政策課題に取り組み、町内経済の活性化を図るための建設事業費等にも配慮した予算配分を行いながら、保育料の見直しや経常的な事務事業経費の抑制を図りつつ、地域の皆様の暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

で取り組み、収入未済額の増加に歯止めをかけるとともに、町税においても税収の確保のため厳正な滞納処分の実行が不可欠であり、そのことが納税者の不公平感を払拭して信頼される税務行政を推進することになると考えていますので、地方税法に基づく宗谷総合振興局との共同徴収を実施して、納税者のご理解を頂きながら引き続き滞納整理を強化して参ります。

平成22年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

款	事業名	事業費
総務費	地籍調査事業	345
	町有施設下水道接続関連工事	5,398
	土地購入	1,501
	総合交流促進施設監理業務委託	12,000
	総合交流促進施設整備工事	203,000
	総合交流促進施設備品購入	25,000
	開発センター解体工事	40,000
	車輛購入	4,850
	総合行政システム購入(徴税)	2,602
	総合行政システム購入(戸籍)	2,526
	ポスター掲示場設置工事(参議院議員通常選挙)	496
計	297,718	
民生費	鬼脇保育所遊戯室床改修工事	700
	計	700
農林水産業費	町有林保育事業	2,200
	小規模治山事業	11,400
	離島漁業再生支援交付金	51,000
	船揚場補修工事	1,020
	水産構造改善事業補助金	127,744
	大磯分港電源設備設置工事	1,575
	計	194,939
土木費	鴛泊市街10号線改良工事	24,000
	鴛泊市街中央線取付道路新設工事	2,000
	恵比寿橋改良工事調査設計業務委託	17,000
	ロータリー除雪車整備事業	33,000
	鴛泊港長期構想見直し検討業務委託	5,000
	鴛泊港整備工事	1,746
	直轄港湾負担金	46,000
	利尻富士利尻線交付金(交安)工事用地取得事業	477,623
	耐震改修計画策定業務委託	3,000
	公営住宅等長寿命化計画策定業務委託	5,000
	飛行場周柵補修工事	1,000
	計	615,369
消防費	防災無線屋外局改修工事	189
	屋外防災スピーカー設置工事	323
	計	512
教育費	埋蔵文化財発掘調査	20,046
	計	20,046
合計	1,129,284	

● 一般会計歳入歳出予算の総額は四十二億八千万円とし、対前年度比で四億八千九百万円の、一・二・九%の増となつていきます。一方、特別会計において

交流促進施設建設事業費で二億九千五百二十万円の、総額十二億二十四万円の二十二年年度に繰り越すことから、これら繰越明許費を含めて二十二年年度の執行予算と位置づけて事業の調整を図り、雇用対策、景気対策を講じようとするものであります。

● 一般会計の増額予算となりました。以上、平成二十二年年度の町政執行に臨む所信の一端を申し述べましたが、私達の暮らしを取り巻く社会経済状況は激しく変動を繰り返しており、先の見えない大きな変革の時代を迎えている

は、簡易水道事業特別会計ほか十特別会計で総額十七億七千六百四十五万円となり、率でマイナスイ・八%で、一般会計、各特別会計の総額では、六十億五千六百四十五万円の予算規模となり、七・八%の増額予算となりました。

ることを受け止めながら、しっかりと自らの足元を見つめ直し、先人が築き上げてきた気概と人情を財産として、魅力的な故郷として後世に引き継ぐために、リーダーシップを発揮して諸問題の解決に取り組みますので、今後とも町議会の皆様を始め町民の皆様の温かいご支援を賜りますようお願いを申し上げます。町政の執行方針といたします。

平成22年度 教育行政 執行方針



平成二十二年
第一回利尻富士
町議会定例会の
開会にあたり、
利尻富士町教育
委員会の平成二
十二年教育行政
執行方針を申
し述べますので、

町議会並びに町民の皆様のご理解とご
支援を賜りますようお願い申し
上げます。

昨年を振り返ってみますと、景気の
悪化が長期化・深刻化し、雇用をはじめ
めとする生活に密着した課題が山積す
る中で様々な経済対策が打ち出されて
いるところですが、厳しい経済情勢へ
の対応はいまだ大きな課題となつてい
ます。

また、新型インフルエンザが世界的
に猛威を振るい大きな社会問題となり、
あらためて子供の生命や健康を守るこ
との重要性を再認識いたしました。

一方、昨年に民主党政権が誕生し、
わが国は歴史的な転換期を迎えています。
今後、教育においても大きな変化

が予想されることから、その動向を迅
速にとらえ、適切に対応できるよう新
しい時代に向けた取り組みを進めてい
くとともに、「生きる力」を育む教育
を確かなものとする理念のもと、教育
各般にわたる新たな課題に対応してい
くことが求められています。

利尻富士町教育委員会といたしまし
ては、国から示された教育施策を基本
としながら、「豊かな心を育む学びの
まちづくり」を目標とし、関係部局や
各種機関、団体と連携を図りながら、
特色ある教育活動の推進に取り組ん
でまいります。

一・学校教育の推進について

教育をめぐって、子どもの学ぶ意欲
や学力・体力の低下、問題行動など多
くの面で課題が指摘されています。こ
のため、国においては、教育基本法の
改正を行ったほか、教育関連三法の改
正、学習指導要領の改訂など、新しい
時代に対応した教育の基本理念が示さ
れました。

教育委員会では、このように目まぐ
るしく変化する社会においても、しっ
かりとした「生きる力」を身につけさ
せるため、昨年度策定した「利尻富士
町学校教育推進計画（平成二十一年度
～平成二十五年度）」を指針とし、学
校・家庭・地域の強い連携の下、利尻
島ならではの豊かな自然環境を活用し、
子どもの視点に立った特色ある教育活

動を推進してまいります。

（一）確かな学力と時代を切り拓く力 を育む教育の推進

●「確かな学力」を育成するには、子
どもたち一人一人に基礎的・基本的な
知識・技能の確実な習得を図り、活用

・探求する力を調和的に高めるととも
に、自ら考え判断し、主体的に行動す
る資質や能力を育てることが必要です。

●学力向上の取り組みについては、平
成十九年度から文部科学省による全国
学力・学習状況調査に参加しています
が、平成二十一年度の結果を見ると、
小中学校ともすべての教科で全道平均
を上回っており、全国との比較におい
ては、中学校ではすべての教科で上回
っていますが、小学校では算数がやや
下回っている状況であります。このこ
とを踏まえ、各学校では、調査で得ら
れた結果を分析するとともに、その結
果を踏まえた学校改善プランを作成し
ており、教育委員会としても、改善プ
ランに沿った支援に努めるとともに、
家庭学習を含めた各種テキストなど購
入のために必要な予算を引き続き措
置し、学校と一体となって「確かな学力」
の向上を推進します。

●国際理解教育は、ますます国際化が
進む中で、異文化に触れることや基礎
的語学力の向上を図るため、外国語指
導手（ALT）や宗谷教育局の支援
によるALTの派遣事業を引き続き行

い、中学校では、英語学習の充実や基
礎的・基本的なコミュニケーション能
力の向上に努めるほか、小学校におい
ては、平成二十三年度から必修となる
外国語活動の円滑な導入に向け、引き
続き外国語教育活動を予算計上して
まいります。

●特別支援教育につきましては、障が
いの状態や発達段階に応じた、一人一
人の教育的ニーズを把握し、適切な指
導や必要な支援を行います。また、学
校や特別支援教育連携協議会など関係
機関との連携を図りながら、児童生徒
や保護者の教育的ニーズに適切に対応
するとともに、調査研究や研修会の開
催などを通じて、地域・保護者への意
識啓発や理解促進に努めます。

（二）豊かな心を育み健やかな成長を 促す教育の推進

●「豊かな心」の育成は、学校・家庭
・地域が一体となって創意工夫し、豊
かな人間性と社会性を育むことが求め
られています。そのためには、道徳の
時間に「心のノート」を活用するなど、
子どもたちの心に響く道徳教育を推進
するとともに、ボランティア活動など
の社会体験や利尻島ならではの豊かな
自然環境を活用した特色ある教育活動
や読書活動など、豊かな人間性の育成
に努めます。

●子どもたちの「健やかな体」につき
ましては、生涯を通じて心身ともに健

康で安全な生活を送るための基礎を培う観点から、健康・体力の向上や運動に親しむ体育授業の充実、自発性・自主性を高め運動能力の向上を図るクラブ活動の支援に努めるとともに、疾病の予防や早期発見のための各種検診や保健指導を充実させ、子どもたちが将来にわたって自身自身の健康管理ができるよう、学校・家庭・地域が一体となつて食育の充実を図ります。

●保護者などへの教育費支援につきましては、経済的な理由により負担が困難な児童や生徒の保護者に対し学用品や給食費などの就学援助を行うほか、高校生や大学生には奨学金を貸与し、引き続き経済的負担を軽減して幅広く有能な人材の育成を図ってまいります。

(三) 信頼される学校づくりの推進

●各学校では、学校教育への信頼を確かなものにするため、家庭や地域に学校経営方針等を説明し理解を得ることや地域活動への積極的な参加など、家庭や地域社会との連携、地域の自然や歴史・伝統・文化などを生かした特色ある学校づくりを目指し、創意に満ちた学校教育目標を掲げて日々努力しておりますので、教育委員会としても目標がより効率的に達成できるよう支援します。

●地域住民の知識・技術を活用した「学校支援地域本部事業」を一層促進するとともに、保護者や学校評議員に

よる外部評価や学校による自己評価の取り組みを積極的に進めながら、情報提供や広報活動を充実し開かれた学校づくりを推進します。また、教職員の資質や能力を一層向上させるため各学校における校内研修はもとより、初任者研修や町教育研究会の研修・研究活動を支援するとともに、北海道教育委員会が実施する各種研修への参加促進を図ります。

(四) 安全で快適な教育環境の充実

●地域において子どもたちの安全を確保し、安心して子どもたちを守り育てることのできる環境づくりに向けた取り組みを進めていくことが課題となっています。

●各学校においては、地域や関係機関と連携し子どもの安全を守るため、安全計画やマニュアルを作成し「安全・安心」の学校づくりに努めております。今後においても緊急時を想定した避難訓練を実施するほか、子どもたちが自身を守る事ができるような安全教育の指導、登下校時の交通安全指導の徹底を図ってまいります。

●いじめや不登校につきましては、携帯電話やインターネットの普及に伴い、その要因や実態がますます多様化・複雑化していますが、早期発見・早期対応が最も有効な解決策であることを踏まえ、学校ばかりではなく家庭や地域とも連携を図りながらその対応に努め、

一人一人を大切にした指導の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となっていじめ根絶に向けた取り組みを進めます。

二. 社会教育の推進について

町民が生きがいをもち充実した生活を送ることができるよう、学校、家庭、地域を通じて、いつでも、どこでも、主体的に学ぶことができる生涯学習社会を形成することが求められており、学校教育と並んで生涯学習社会の形成に重要な役割を担う社会教育においては、幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージに応じた学習機会を提供し、より一層地域に密着した社会教育事業を推進します。

(一) 豊かな人生を支援する生涯学習の推進

●全ての町民が生涯にわたって自己実現を目指して学習を継続していくことができるよう、教育委員会では推進計画を策定し、生涯学習を総合的に推進しておりますが、策定の期日が今年度までとなっていることから、町民からも策定委員を公募し、平成二十三年度から十年間の新たな「利尻富士町生涯学習推進計画」を策定します。各種団体と連携、協力をしながら、世代に偏らない様々なものづくり教室などの講座や、健康づくり教室、レクリエーションなど、公民館等の社会教育施設を

活用できる社会の要請に対応した「心の豊かさを実感できる事業」を展開してまいります。

(二) 豊かな心を育む青少年の健全育成

●青少年を巡る昨今の状況は、いじめ、不登校、引きこもり、ニート、少年犯罪の深刻化など様々な問題が発生しております。このため、利尻富士町青少年健全育成町民会議などの関係機関、団体との連携を図りつつ、学校・家庭・地域が一体となった取り組みと、次代を担う心豊かな子どもたちを育成するため、今年度より利礼三町児童交流事業を新たに展開します。

●「放課後子ども教室推進事業」につきましては、学校長期休業期間を利用し、北海道教育大学旭川校の協力のもと、将来教員を目指す大学生が指導を

担当して開催された「夏休みチャレンジ教室」は地元ボランティアの協力もあり、参加者に限らず保護者の方々からも非常に好評をいただきました。また、保護者からの強い要望により、夏休みの開催はもとより冬季での開催希望も多く、教科学習支援に重点を置いた「冬休みチャレンジ教室」を稚内北星学園大学の協力を得ながら開催いたします。

●財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の採択を受けて実施した「親子ふれあい自然体験事業」が、今年度もその事業内容の成果が認められ採択されたことから、沢山の児童生徒・保護者の方々の参加を促し実施



夏休みチャレンジ教室

たします。

(三) 豊かな感性を育てる 芸術文化の振興

●本年度より公民館事業として、国の補助事業である「伝統文化こども教室事業」を活用し、児童の減少により存続が危惧されておりました「南浜獅子神楽の伝承演舞」を一部の地区にとらわれず、町内小中学生より参加を集い、保存会の方々の協力を得ながら、民俗芸能や伝統文化に関する活動を、計画的、継続的に体験・修得できる機会として、提供していきたいと考えております。

●昨年度発掘調査をした利尻富士町役場遺跡については、今年度中に出土遺物を整理し、報告書を取りまとめる予定ですが、報告書自体は専門的な内容のため、町民の皆様に対しては、広報や企画展示などを通じてわかりやすく調査成果の周知に努めてまいります。さらに、学校授業や研修会等の要請に対しては、積極的に応じて参りたいと考えています。

(四) 健やかな心身を育む スポーツの振興

●子どもたちがスポーツに親しみ健全な心身を育むうえで、重要な役割を果たしている利尻富士町スポーツ少年団や、本町のスポーツ振興の中心を担う利尻富士町体育協会などに対し引き続き



利尻富士町役場遺跡

き助成を行い、各種スポーツ大会や行事などを支援してまいります。

また、体育協会の理解・協力を得て、本年度はクラブの創設に必要なスポーツアシスタントマネージャーの育成を図り、スポーツ振興、生涯スポーツの普及に取り組みます。

●今や利尻島を代表するスポーツイベントへと大きく成長した「利尻島一周悠遊覧人G」が、今回で記念の十回目を迎えることから、実行委員会補助金として百万円を予算計上しております。

以上、平成二十二年度の利尻富士町教育委員会の教育行政執行方針について申し述べましたが、その執行にあ

つては各関係機関、団体との連携を図りながら、ふるさと利尻富士町の未来を担う子供たちの健やかな成長と、創造性豊かな特色ある生涯学習社会の充実に向け一層努力してまいりますので、町議会の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



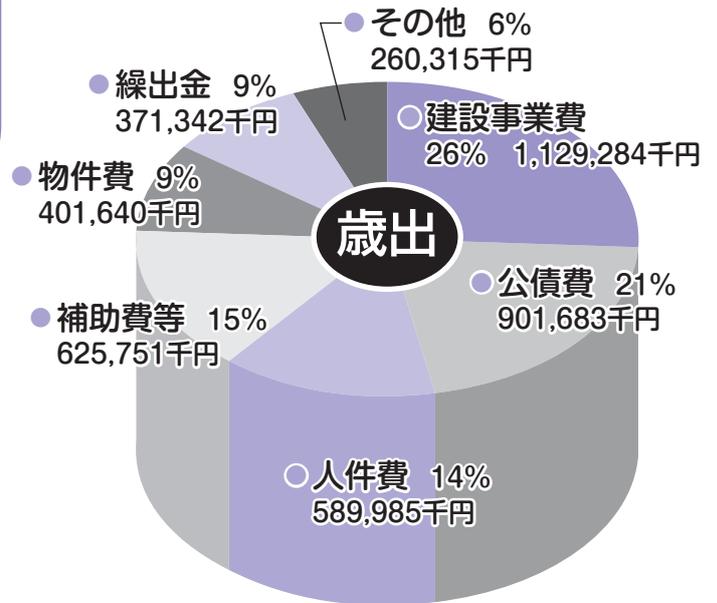
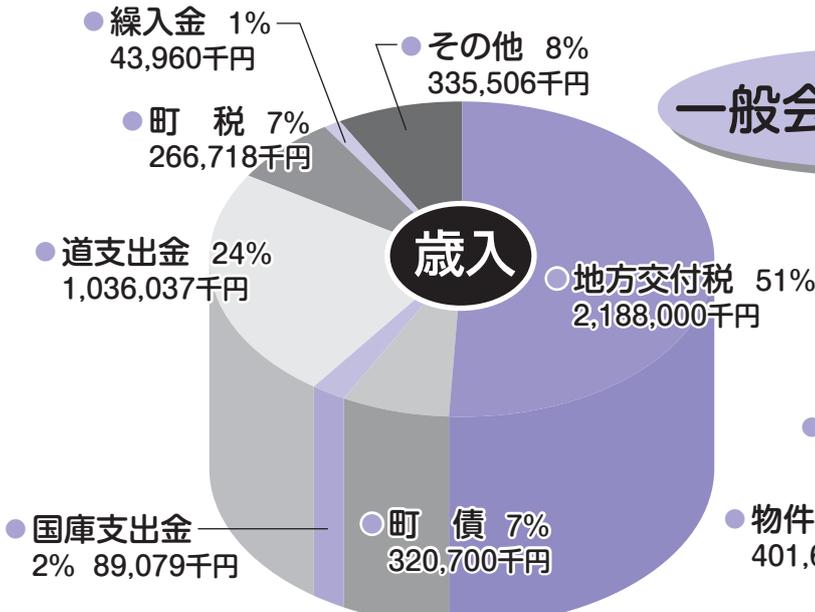
一般会計の歳入・歳出予算額は…

42億8,000万円

平成22年度の当初予算額は、前年度比12.9%の増となっております。特別会計の合計17億7,645万円と合わせた町の予算総額は60億5,645万円で、平成21年度当初予算と比較すると、約7.8%（4億3,718万円）の増額となります。

平成二十二年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算は

単位：千円

	平成22年度	平成21年度	比較
簡易水道事業特別会計	76,621	77,721	△ 1.4%
下水道事業特別会計	260,283	216,684	20.1%
港湾整備事業特別会計	5,345	8,093	△ 34.0%
温泉事業特別会計	65,843	67,611	△ 2.6%
国保事業特別会計	452,993	446,812	1.4%
老人保健特別会計	660	1,516	△ 56.5%
後期高齢者医療特別会計	41,699	39,821	4.7%
介護保険事業特別会計	294,382	286,760	2.7%
介護サービス事業特別会計	463,868	460,767	0.7%
歯科施設特別会計	42,279	148,246	△ 71.5%
国保施設特別会計	72,477	74,233	△ 2.4%
合計	1,776,450	1,828,264	△ 2.8%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	43,062
総務費	675,805
民生費	454,787
衛生費	342,256
労働費	132
農林水産業費	230,965
商工費	151,653
土木費	1,039,906
消防費	197,230
教育費	235,260
公債費	901,683
諸支出金	4,260
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	4,280,000

平成21年度 功 勞 者 表 彰 式



自治功勞

鬼脇字鬼脇 加藤 正廣 (自治会役員)
 鷺泊字本町 加藤 多津子 (自治会役員)

消防救難功勞

鷺泊字栄町 小松 幸男 (消防団員)
 鷺泊字栄町 小吉 洋正 (婦人防火クラブ)
 鬼脇字鬼脇 川村 博 (水難救難所員)
 鬼脇字清川 川村 宏 (水難救難所員)
 鬼脇字野中 澤田 勉 (水難救難所員)
 鬼脇字鬼脇 佐々木 日出雄 (水難救難所員)
 鬼脇字鬼脇 今 昭 (水難救難所員)
 鬼脇字二石 櫻 庭 敏 (水難救難所員)

善行表彰

鷺泊字本町 佐藤 吉郎 (スキーの普及指導に貢献)
 鷺泊字本町 西村 文 (スキーの普及指導に貢献)
 鬼脇字清川 佐野 秀樹 (スキーの普及指導に貢献)

平成二十一年度利尻富士町功勞者表彰式が、一月二五日、利尻島開発総合センターにおいて挙行されました。今年も、各分野より十三氏の功勞を称え、町より表彰されました。それを受け、当日出席した十名を代表し、「自治功勞賞」を受賞された加藤正廣氏より、受賞者を代表して決意が述べられました。受賞者の皆さん、本当におめでとうございました。

保健師だより

福祉課すこやか保健係

利尻山の雪も解け始め、春が感じられる季節となりました。みなさんいかがお過ごしですか？
さて、**あんぱんまんくらぶ・トトロの広場**というサークル名を、お聞きになったことがありますか？
保育所に行く前のお子さんとパパ、ママが、より快適に育児をしていけるように活動しているサークルです。子育てやその他の悩みなどをみんなで話したり、子どもと大人がともに楽しめるイベントを行っています。

はじめは緊張するかもしれませんが、まずは見学からお越し下さい！

あんぱんまんくらぶ

日 時：毎週水・木曜日
10：00～11：30
場 所：保健センター、役場前公園他
その他：ボランティアの方が、本の読み聞かせや手遊びを一緒にしてくれます！
代表から一言：行事も盛りだくさん♪気軽に来てください^-^/

トトロの広場

日 時：毎週水 10：00～11：30
場 所：鬼脇公民館2F
代表から一言：今年は、参加できるお友達が増えたので、イベントなどを少し増やしてみんなで楽しい時間を過ごせたらと思っています。どなたでも、気軽に顔を出してみてくださいね^o^/

★昨年度は、あんぱんまんくらぶとトトロの広場合同でクリスマス会を行いました！



2010 国勢調査

平成22年10月1日

国勢調査を実施します



- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

総務省・北海道・利尻富士町

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査e-ガイド」をご覧ください。

国勢調査e-ガイド

検索

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

わがまち
タイムスりっぷ

連載②③

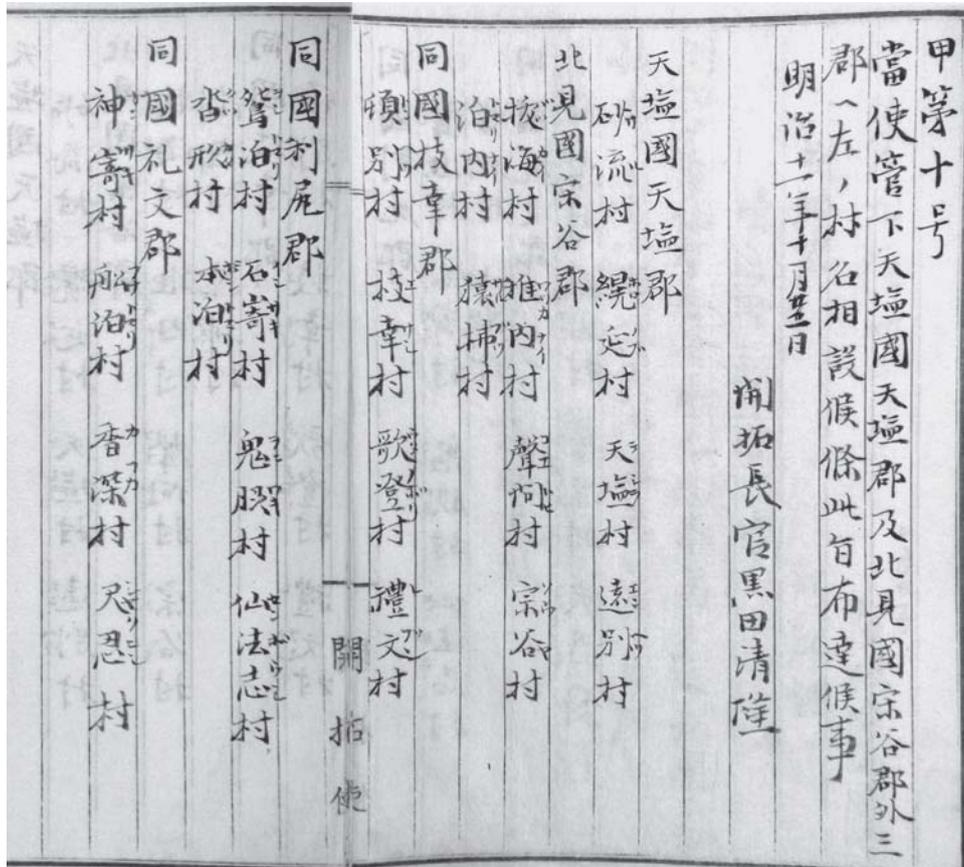
開町130年のあらし

最近、大河ドラマなどの影響もあり、坂本龍馬がブームになっていますが、彼が目指したのは、日本を今一度洗濯すること、いわゆる明治維新でした。

明治維新後、北海道開発にあたっては、札幌に開拓使が置かれ実務を執り行ないました。この流れの中で、道内各地に国郡が設定され、利尻島は「北見国利尻郡」となりました。明治9年、道内に大小区画が制定されると、利尻郡は第28区4小区に属し、宗谷区務所が置かれ、翌年鷺泊にその分署となる利尻扱所が置かれました。

そして、明治11年には、開拓使の文書「10月26日 天塩外四郡へ新村設置^{ふたつ}布達ノ件」によって、利尻郡に鷺泊、石崎、鬼脇、仙法志、杓形、本泊の六村が設定されました【写真】。

さらに、明治13年2月9日には、六村を統括する利尻郡^{こちよう}戸長役場が鷺泊村に置かれ、3月に開庁しました。ちなみに役場が開設される直前の島内の人口は、368名でした。このとき戸長の役割は、戸籍や税金の取りまとめ、道路や港などの整備、就学の勧誘など、いまの役場事務につながるものでした。こうして地方の行政組織が整備され、ここから数えて今年が利尻富士町開町130周年となるわけです。



開拓史からの新村設置を伝える文書
(明治11年「申奏録 上」北海道立文書館所蔵)

ご意見や情報は、教育委員会 山谷 (電話82-1370) までご連絡下さい。

ベビートーク

フトの 元気な赤ちゃんを 紹介するよ!



まきのゆら
牧野 結来ちゃん
H21. 8. 3 生
【両親】 隆史・希
【住所】 鬼脇2

はじめまして☆
私は牧野結来と言います。
お姉ちゃんとお兄ちゃんが大好きで遊んでくれるととっても嬉しいんだ(*^_^*)
早くハイハイしたり歩けるようになってもっとお姉ちゃん達と一緒に遊びたいと思っています♪
よく鬼脇で散歩しているので、見かけたら声かけてね♡



むらやおとは
村谷 音羽ちゃん
H21. 9. 23 生
【両親】 広大・千春
【住所】 栄町1

こんにちは♥
みんなにデブちんと言われてちよっと気にしています~!!笑
お姉ちゃんとお兄ちゃん毎日週ごしています。
最近はお散歩にもでてます。みなさん見かけたら声かけてネ☆♪
こんな私ですがよろしくお願ひします!!



さわだなみ
澤田 奈実ちゃん
H21. 10. 23 生
【両親】 学・美和
【住所】 二石

初めまして、なみです!
パパが入れてくれるお風呂が大好き♡とくい顔で入ってるよ♪そのうち歌いそう。
いつもやさしいおじいちゃんおばあちゃんに会うのをとても楽しみにしているよ。いつかは付いて歩きたいな♪
あたたかい日はお家の前を散歩しています。みなさんどうぞよろしくおねがいします。



わたなべあやな
渡邊 彩奈ちゃん
H21. 5. 13 生
【両親】 良一・美帆
【住所】 栄町2

はじめまして!
私の名前は「あやな」です。
とっても甘えんぼうな女の子です。
よくお父さんにソックリだね~って言われるけど、似てるかなあ?
時々お父さんの職場に遊びにいて、フェリーを見に行くのが好きなんだあ♪
普段は仲良しのお兄ちゃんといつも一緒に遊んでいます☆
ニコニコ笑顔が得意なので、みなさん街で見かけたらいつでも「あやな~」って声をかけてね!

【お詫び】
上記については、平成22年新年号 (No.218) への掲載漏れがございました。心よりお詫び申し上げます。



たむららいと
田村 頼人くん
H21. 9. 8 生
【両親】 真人・裕子
【住所】 栄町1

こんにちは。田村頼人です。
僕には2人のお兄ちゃんがいいます。毎日遊んでくれて、面倒も見てください。お兄ちゃん達のことが大好きです♡♡
ちなみに、パパのことも大好きなんだあ~!!
僕のこと見かけたら、声かけて下さいー。
ヨロシクネ♡



ふじさわあずさ
藤澤 梓くん
H21. 10. 9 生
【両親】 淳・彩
【住所】 清川

とっても大きな赤ちゃんです。
人の輪にいるのとお出かけが大好きです。
お家において機嫌が悪くなるとお兄ちゃんが面白い顔をしたり絵本を読んでくれるので、お兄ちゃん大好きです。
みなさんよろしくね。



まつやはまと
松谷 颯斗くん
H21. 10. 26 生
【両親】 秀和・美穂
【住所】 鬼脇1

はじめまして!「ハヤト」です。
最近、お母さんに似てきたねって言われるんだあ。
お風呂がと~っても大好きでニコニコになっちゃうの。
町で見かけたら、いつでもハヤト~!!って声かけてね。

▽▽▽▽▽ 警察官ご紹介 ▽▽▽▽▽



鴛泊駐在所
前田 光佑

4月の異動に伴い、旭川東警察署から鴛泊駐在所に着任しました。家族は妻と長男(1才9ヶ月)の3人です。
駐在所での勤務は、初めてで不慣れな点も多々ありますが、精一杯頑張りたいと思いますので、公私共々宜しくお願い致します。



鬼脇駐在所
廣岡 信一

4月の異動により、北見から鬼脇駐在所に着任しました廣岡です。家族は妻と子供2人です。
早く町民の皆さんの顔を覚え、皆さんが守ってきた伝統を踏まえ、皆さんと共に仕事に取り組んでいきたいと思っていますので宜しくお願いします。
趣味は釣りで、今までは川、湖でしたが、今後は海釣りにも挑戦してみようと思っています。

平成22年度自動車税の納期限は5月31日(月)です。

納期限までに納めましょう。

- ◎納期限までに納税されない場合は、年14.6%(納期限の翌日から1ヶ月を経過する日までの期間は年4.3%)の割合で延滞金がかかります。
- ◎自動車税は次の場所で納税できます。(町内の金融機関、郵便局 ・ セイコーマート)

【問い合わせ先】 北海道宗谷総合振興局地域政策部税務課納税係
〒097-8558稚内市末広4丁目2-27 電話：0162-33-2520(直通)

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
畠中 駿(しゅん)	11.26	栄明・笑	二男	鬼脇1
川村 瑛太(えいた)	12.2	英隆・未来	長男	鬼脇1
福士 恭平(きょうへい)	12.25	吉則・佐千子	二男	栄町1
黒川 結風(ゆうな)	1.13	哲義・由希	二女	栄町1
渡邊凜太郎(りんたろう)	2.4	勇樹・美鈴	二男	本町
長森 ルナ(るな)	2.9	正俊・タシラ	長女	栄町1
山本 弾駆(だんく)	2.18	貴幸・美香	長男	清川

戸籍の窓口

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所
12.12	川村 伸一	鬼脇1
	民野さゆり	鬼脇1
2.22	江刺家堂真	利尻町
	平田 朱美	本町

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
西谷 巖	12.3	95歳	金崎	荒木クニエ	2.4	87歳	港町
下江 チヨ	12.7	91歳	栄町1	松田 リヨ	2.6	101歳	秀峰園
菅原 マサ	12.16	89歳	湾内	川村 進	2.11	59歳	石崎
寺田 芳雄	12.19	95歳	栄町2	谷口 和美	2.11	33歳	清川
山本 亘	12.26	72歳	鬼脇2	網瀬 キイ	2.12	91歳	本泊
吉田 喜代	1.5	90歳	鯉泊	吉田美恵子	2.21	48歳	栄町1
長谷川ツルエ	1.12	91歳	秀峰園	羽場 ノエ	2.23	81歳	清川
佐高 和子	1.25	72歳	大磯	神成 咲響	3.8	5ヶ月	栄町2
大野 ナミ	2.1	92歳	秀峰園	中座 長平	3.20	83歳	秀峰園

編集後記

徐々に温かさを感じる季節となりましたね！さて、これから町内イベントや運動会など行事が目白押しです！特に皆さんご存知かと思いますが、今年で10回目を迎える「悠遊覧人G」にゲストランナーとしてシドニー五輪金メダリスト“Qちゃん”こと高橋尚子さんが参加されます！
めったにない機会なので、お目にかかれることを今から楽しみにしています！（もちろんスタッフとして！出場はしません…）沿道での皆さんの応援もよろしくお願いいたします！

交通事故死
ゼロ

1,741日

5月17日現在
(4月6日1,700日突破!!)

デイト運動実施中

人口のうごき (平成22年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	991	1,069	2,060	908
鬼脇	426	475	901	488
合計	1,417	1,544	2,961	1,396
昨年	△ 4	△ 13	△ 17	+ 3